

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [高島市立安曇川中学校] 担当教諭名 [久保 雅貴・堤 祥晃] (生徒会 14名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [SMA Santo Paulus Pontianak] 担当教諭名 [Lenny Lenny]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	生徒会	国際交流壁画共同制作プロジェクト	22
	総合	Zoomでインドネシアの人と交流しよう!	4

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	「貧困をなくそう」
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人に当たり前の生活を ・みんなが幸せ



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の貧困と、インドネシアの貧困の双方について知り、自分に何ができるか課題意識をもって学習することができた点。 ・インドネシアに興味をもち、Zoom会議で関係を築き、異文化理解につながった点。壁画の裏にインドネシア語で感謝の言葉を述べていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、生徒とともにまとまってじっくり考える時間を確保できなかった点。 ・Zoomでは、生徒が準備してきた英語の文章を読むだけになってしまった点。 ・相手国の話す英語のペースについていけず Zoomでの会議が、スムーズにいかなかった点。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>当初、インドネシアがどこにある国なのか、どのような特徴があるのか分かっていない状況だったが、交流を通して近い存在になったように感じる。</p> <p>「貧困をなくす」ために、インドネシアの貧困の現状についても知ることができた。</p>	<p>今回の取り組みを通して、生徒の意識が変わったり、成長したりする姿を見て、この取り組みの奥の深さを実感することができた。</p> <p>インドネシアとつながることができ、1つの壁画が完成した時の子どもたちの達成感はとても大きなものであった。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 (Zoom) をして、お互いを知る。 SDGsについて学習し、スライドにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介カードを画用紙に書いて実際に交流をした。交流ができたことにとっても嬉しそうだった。 SDGsに興味をもつことができた。 	生徒会3
共有 テーマ学習	9月	<ul style="list-style-type: none"> 「貧困をなくす」ことについて、自国の貧困の現状を調べたことを Zoom で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の貧困の原因は、非正規雇用の増加、高齢化の進行などが関係し、親が貧しければ子どもは十分な教育を受けられず、若いうちから働かなければならないということを英語で伝えようとするのができた。 	生徒会5 総合4
融合 メッセージ作成	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちに何ができるか考え、世界に発信するメッセージを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 私たちにできることとしては、募金をするとか、貧困問題について知るとか抽象的な意見が多かったので、生徒には具体的にイメージさせるようにした。 	生徒会5
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 未来に向けた双方の想いを合わせて、世界に発信するメッセージを作成する。 日本側で絵を半分完成させ、送る。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーラム上で世界に発信するメッセージのやりとりを行った。 壁画作成は、楽しみながらも丁寧に言うことができた。 	生徒会7
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 全員で完成した壁画を囲んで鑑賞する。 学習全体を一人ひとりが振り返り、自己評価する。 体育館に掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流相手の画力の高さに大変驚いていた。 取り組みに満足感を感じている生徒が多かった。 	生徒会2

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	交流相手にZoomで、日本の文化、学校の特徴など紹介したり、相手からもインドネシアの文化、世界遺産、あいさつについて教えてもらったりしていたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	貧困が起こる原因について、ネットからの情報だけでなく、交流相手とのやり取りの中で、改めて考え直すことができたと感じるから。
主体的に考え行動する力	4	コロナ禍でまとまった時間の確保が難しい中、協働学習や壁画の制作、Zoomでの会議など役割分担を決めて、それぞれが意欲的に取り組むことができたと思うから。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	交流相手とのZoomでのやり取りでは、本校ALTが中心となって進行を進めたため、生徒は予め用意していた文章をしゃべるのみで、なかなか対話とまではいかなかったから。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	3	壁画に伝えたいメッセージや壁画の題は、教員がフォーラム上で言い、交流相手国としっかり議論して決めたことまではいかなかったから。